

体育専科教員派遣授業（竹田市立南部小学校 麻生秀作教諭）

「多様な動きをつくる運動」 竹田市立菅生小学校（1.3.4年）

令和3年11月18日（木）

体育専科教員：麻生秀作教諭（竹田市立南部小学校）の派遣授業の様子を紹介します。
麻生教諭が、竹田市立菅生小学校の1.3.4年生（T1:安東瑞恵教諭 T2:山口理恵子教諭）の授業を観察し、指導・助言を行いました。
「多様な動きをつくる運動」 めあて『友だちと協力していろいろな動きをしてみよう』
体のバランスを取る動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身につけ、それらの動きを工夫したり、組み合わせたりしている。



○準備運動ではストレッチやバランス等で体を温めます。音楽に合わせてリズムよくポイントをおさえながら体を動かしていました。



○全員で準備してサーキット開始。
1人技（ボール挟み、後ろ走り、クモ歩き等）
2人技（手押し車、押し相撲、ボール運び等）



○個々が見せたい技を紹介します。技の「上手なところ」「友だちと協力していたところ」をみつけて交流しました。



○練習→作戦タイム→3対3のゲーム。ボールをどこにバウンドさせるとパスがながるか、点がとれるかを考えていました。



○授業を画像や動画を使いながら振り返ります。主運動につながるサーキットや他の単元でも使えるワークシート等も紹介しています。

【麻生教諭による指導のポイント】

〈サーキット〉

- ・楽しい!と感じる動きで汗をかく程度で。
- ・主運動につながる内容がよい。
- ・ボールを使う等の飽きさせない工夫を。

〈多様な動きをつくる運動〉

- ・難易度が異なる技を示して意欲を高める。
- ・めざす技を自分で決めさせる。
- ・低学年から様々な動きをさせる。

【麻生教諭による授業づくりのポイント】

- 「全員が楽しい」と感じる授業をめざす。
- 苦手な子へ…運動を通して励ます、ほめる。
- ICTの活用…動画で動きを確認し教え合う。
- 遊びの要素を入れる…補助運動の工夫を。